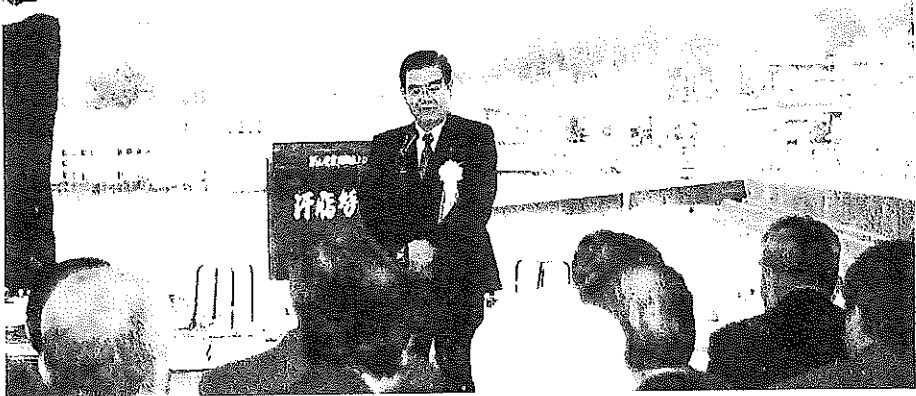


八乙女

選りすぐり
里芋供ふ元始祭

林 外吉



旧南山見農協百周年記念式典を経て

J Aとなみ野農協南山見支店長 小橋 昭夫

新春をご家族お揃いでお迎えに出来ましたこと、心よりお慶び申し上げます。

さて、旧南山見農協が創立百周年を迎えることについて、森田組合長から昨年「ふれあいとなみ野四月号」にてご紹介戴きましたので、地区の先輩諸氏にお集り願っている調べてみましたところ、旧南山見農協は明治三十四年一月、松田三郎ほか十六名の組合員が集い、南山見村西院瀬見を区域とする信用組合設立の許可申請を県知事宛てに提出され、これが「産業組合法」制定直後、富山県における産業組合創立の第一号として銘記され、当時の組合は、組合員十七名、出資口数十九口、出資一口金額十円、出資金額百九十円であることが判明しました。

今から溯ること一世紀前のあの時代に、先駆者達が地区の発展と将来を願って成し遂げた「情熱」と「英断」には言葉では言い表せない重みを感じ、創立当初の精神が今現在の農協につながっていると思うと、とても奮起させられます。

昭和六年に三十周年、昭和三十一年に五十五周年と先輩諸氏は長い年月を重ね、昭和四十四年に井波町農協、昭和五十七年に井波農協と名称変更を行い、平成七年三月に現在の「となみ野農協」となり、平成十三年十二月、先輩諸氏のご協力のもと百周年記念式典を挙行させていただきました。

この記念すべき式典は、地区関係職員の今後の事業活動の心の糧となることと思えます。

これからも、一層組合員の皆様に可愛がられご利用戴けますよう、職員一丸となり頑張りたいと考えております。

午年の

新春を迎えて



新しい技に挑戦

山田 佳奈恵

(平成二年生)



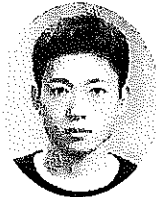
今年、最高学年となり、小學校生活が最後となるので、いい思い出をつくりたいと思います。

私は、剣道をやっているのですが、今年は今までできなかった新しい技に挑戦し、たくさん試合に出場して勝ち進んでいきたいと思っています。

人生の出発点に

前川 茂樹

(昭和五十三年生)



社会人になって三年目の今年、自分の干支が回ってきたということで、これが自分の人生を構築する上での重要な出発点にしなればと感じます。

これからますます加速する競争社会で、より充実した社会的地位につくためにさまざまな知識、技術を身につけ、社会や企業から必要とされる人間となるよう努力していくつもりです。

出会いを大切に

富田 光恵

(昭和四十一年生)



仕事から、多くの方と接する機会があり、話を聞かせて頂き、自分の知識、経験のなさが情けなく思われる今日この頃……。

今年はより一層、多くの人との出会いから様々なことを学び、少しずつでも成長していけたらと思っております。

うま年であり、万事ウマくいく年に

小橋 徳夫

(昭和二十九年生)



午年の馬は絵馬で見られるように、神に仕える神聖な生きものとされ、時代を切り開く力を持つといわれています。豊かな心を持って、よりいっそう自分を磨く努力をし、地域の人たちと交流を深め、また、自分と向き合い、感謝の心を忘れずに、常に夢を持ち続けていきたいと思っています。

夢が人生を作る

三浦 真知子

(昭和二十九年生)

もうそんな年？ 振り返ってみると早いもので、年だけ積み重ねて来



てしまった。思うに、不況で先の見えない不安な時こそ、夢を持って生きよう。夢のない者は希望も、計画も、反省もない。一度きりの人生、前向きに楽しく笑って生きていけたらと思います。

還暦を迎えて

前川 文治

(昭和十七年生)



この世に生まれ育ち、健康で還暦を迎えることが出来ました。これも家族をはじめ、多くの皆様のおかげと感謝いたします。

振り返ってみると、戦後、物のない厳しい時代を過ごしてきましたが、今は物が豊富で、必要な時にすぐに買える二十四時間営業の店もあり、何の不自由もなく便利な時代になりました。今の生活形態がいつまで続くのか、一抹の不安が感じられます。

これからは、健康で地域の皆様と一緒に感謝の心を大切に頑張っていきたいと思っております。

誓 願

須川 俊 行
(昭和十七年生)



還暦、あつと
いう間の六十年。
何と月日の流れ

の早いこと。何千人、何万人の人々との出会い、目の前をスーと通り過ぎた人、数多くの諸先輩の方々に心温まる激励を頂きました。

ある詩人の詩に、

「あなたがそこに ただいるだけで
その場の空気が 明るくなる
あなたがそこに やすらぐ
みんなの心が ただいるだけで
あなたがそこに ただいるだけで
希望と勇気が わいてくる
そんなあなたに わたしもなりた
い」

この詩のような自分になれるように生きていきたい！

回 想

久 恵 愛
(昭和五年生)



何も考えず学
び、遊び迎えた
二回目の午年。

戦中戦後、結婚・育児に夢中で過
ごし迎えた三回目の午年。

氣力、体力共に自信があり、戦後
復興時代をがむしゃらに働いて迎え
た四回目、五回目の午年。

孫の笑い声でにぎやかに迎えた六
回目の午年。

孫五人も大きくなり、これからは
私の人生。大好きな踊り、大正琴と
趣味も持てて迎えた七回目の午年。

これからは身体の動く限り、野菜
作りや趣味に励み、一日一日を大切
に感謝の気持ち忘れず過ごしたい
と思います。



無理なく 無駄なく

松 田 澄 子
(昭和五年生)



輝かしい二〇
〇二年の幕開け
と共に、我が家

もおかげ様で新築なり、木の香漂う
新居で新年を迎えられましたことに、
先ずもってご先祖様に、そして家族
に対して感謝の気持ちでいっばいで
ございます。

おかげ様で七回目の午年を健康で
迎えられたことが何よりの幸せでこ
ざいますが、残された人生を無理な
く無駄なく充実した余生を送りたい
と願っております。

うま年を迎えて

池 田 和 夫
(昭和五年生)



私は昭和五年
生まれのうま年
です。今も企業
管理を続けておりますが、今年は七

村の区長会相談役となり、八乙女山
を中心として歴史ある不吹堂と不動
滝の祭礼などの管理、運営に当たっ
ております。

先人達が残してくれた自然の遺産
に感謝の気持ちを大切にし、地域の
発展に努めたいと念じております。

平凡な日々を

森 為 雄
(大正七年生)

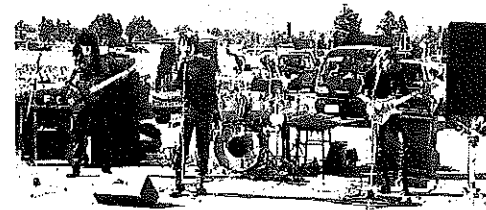


昔は、人生五
十年と言いまし
たが、八十路半

ばになり達者で居られることは、親、
先祖、家族のお陰と感謝致しており
ます。三夫婦とヒコ二人同居の楽し
い毎日です。

生きている限りは、健康第一にし
なければ笑ひもなければ幸福になる
ことも出来ないと思ひます。御身大
切にして、余生を地域の皆様と仲よ
く平凡な毎日を過ごしていきたいと
存じます。

第24回 地区文化祭



十一月十一日、「みんなで広げよう文化の輪」をテーマに第24回南山見八乙女文化祭が開催されました。晴天に恵まれ、公民館前は野菜などを並べた模擬店コーナーの威勢のいい声が響きわたりました。館内では、各種団体の活動発表や自分らしさを表現した数々の作品の展示、またステージの上では園児から老人会の方々までの舞踊、劇、音楽など日頃の活動の成果を熱心に発表されました。

今年も、公民館前でのロックバンドのライブも大変盛り上がり、今までとは違った雰囲気の実感した一日を過ごしました。(母親クラブ)

探勝会に参加して

十月二十日、棟方志功ゆかりの福光町をバスで訪ねました。

最初の見学は躰飛山光徳寺で、棟方志功氏のあの有名な襖絵「華厳松」は、今までに何度か拝見しましたが、いつ見てもその力強さに圧倒されます。

その後楽しみにしていました鯉雨画斎に着きました。こじんまりとした平屋で、

便所の壁や天井に生き生きとした天女や菩薩様が、またアトリエの板戸には鯉などが自由に描かれており、初めて訪れてその素晴らしさに感動いたしました。住居自体が貴重な作品であり、大切に保存されていることを大変嬉しく思いました。

次に小又の「ぬくもりの郷」にきました。四月にオープンしたばかりなので、とても綺麗で露天風呂も大きく眺めもよく、当日は土曜日なので、入浴客もいっぱいでした。

今回の探勝会は、美術鑑賞と温泉



がセットされていて「ふれ合いの和」も広がり有意義な計画でした。今後元気でもまた参加したいものです。(山本綾子記)



花だんづくりとクリスマス会

十二月九日、児童クラブと母親クラブによるクリスマス会と、「花と緑の少年団」による花壇作りが行われました。

花壇作りは、天候にも恵まれ、公民館前の花壇にたくさん球根を植えることが出来ました。「花と緑の銀行」の方々のお手伝いを頂き、大変感謝しています。

クリスマス会では、ツリーの飾りつけをした後、母親クラブの皆さんに焼いて頂いたホットケーキに学年別にクリームなどを飾り、またサン



タさんよりプレゼントを頂き、皆で会食しました。最後にビンゴゲームをし、一足早いクリスマスを楽しみました。
(母親クラブ)

受賞のよろこび

平成十三年度井波町表彰

自治功勞

澤田武夫さん

産業経済功勞

谷川有吉さん

新年の集い



恒例の、南山見地区の「新年の集い」が一月四日、当公民館で開催さ

まちづくりを語る会

地区自治振興会・公民館共催で、十一月二十二日に南山見公民館和室において、町長をお呼びし、まちづくりを語る会が開催されました。

清都町長より十四歳の挑戦の表彰・ふるさとみらい21のライトアップなどの報告・ラフォーレの室内広場などの竣工・地域型スポーツクラブの導入などの町政報告の後、参加者よ

れました。来賓として清都町長、島田議長、町三役、山本綿貫後援会長ほか一〇〇名近くの参加者があり、今年も女性の皆さんの参加も多く、新年の交歓で賑わいました。

開催の挨拶で前川自治振興会長は昨年を顧みずと「同時多発テロ」を始めとして「大手企業の倒産」「狂牛病の発生」など暗いニュースが続きましたが、しかし明るいニュースもありました。「愛子内親王殿下のご誕生を心からお祝い申し上げたい……」と新年の挨拶を述べられた。
(前川哲郎記)

り多数の要望や質問・提言がなされました。

- 概要は次の通りです。
- 市町村合併について
- 教育改革による学校の取り組みについて
- 農道整備・舗装進捗状況について
- 行政職員の対応等について
- 戸板団地の今後について
- 田園空間整備事業について 等

(事務局)

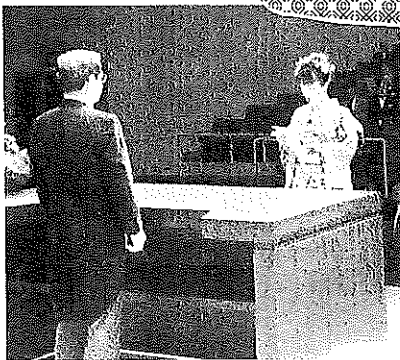
新成人のみなさん

院瀬見第一	田村将士
院瀬見第二	松田優美
院瀬見第三	田中大智
東城寺	長田祐輔
清玄寺	林 優子
志観寺	亀田吉隆
	藤井章裕
	松井俊輔
	高瀬真宏
	前川美香
	小橋文重
	岩田宗平
	川原 忍
	池田真人
	高田直美
	片田己奈子
南山見団地	

齊藤有佳	澤田充朗	松岡洋司	前田佑子	田中英行
------	------	------	------	------



成人特集



成人をお迎えの皆さん、誠にめでとございます。

井波町成人式は、この季節にしては珍しく晴れ間の広がった一月十三日に、総合文化センターにて華やかに、盛会に行われました。当地区より片田己奈子さんが謝辞を述べられました。

そのあと、新成人の進行で小学校、中学校の恩師をお招きし、スクリーンを使いながら、思い出やお祝いの言葉をいただきました。また、久しぶりに会った友達と話が弾んで心に残る楽しい一日だったと思います。

公民館より今年もお祝いとして、辞典をお贈りいたしました。(事務局)

宮城成年女子バスケットボールチームよりお礼状

2000年とやま国体で、当地に民泊した宮城成年女子バスケットボールチームが、先の宮城国体で優勝され、その感謝のしるしとして、一昨年お世話になったご家庭へ「額入り賞状(写)」と、ご声援いただいた地域の皆様にもよろしくお伝えくださるとの「お礼状」が届きました。

地区ビーチボール大会

恒例の地区ビーチボール大会が一月二十七日より四日間に亘り行われました。第十八回目を迎えて内容も検討され、選手四名の合計年令が一八〇才未満の部と一八〇才以上の部に分けられ、大変充実した大会になりました。参加チームは二十二チームでした。

成績は左記の通りです。

優勝	沖 Dチーム	里領 Aチーム
次勝	院四 Aチーム	里領 Cチーム
参勝	谷 チーム	沖 Bチーム

(事務局)

「新世紀開幕だ」と大賑わいの昨年は、テロや戦争・狂牛病などで混迷を深めていましたが、年も暮れ近くに待望の敬宮愛子様がお生まれになり、ほのほのと明るい新しき年を迎えることが出来ました。

宮さまのお健やかな成長をお祈りし、世の中の混迷の状態が少しでも解決されて、今年こそ平和であるようにと願わずにはいられません。

(記雪の下)

お知らせ

2月17日(日)午前9時より

第13回 三世代交流の集い

御寄附
一、金二万円也
女性セミナー様

南山見人口

男	570人
女	641人
計	1,211人

平成13年12月31日現在

編集後記